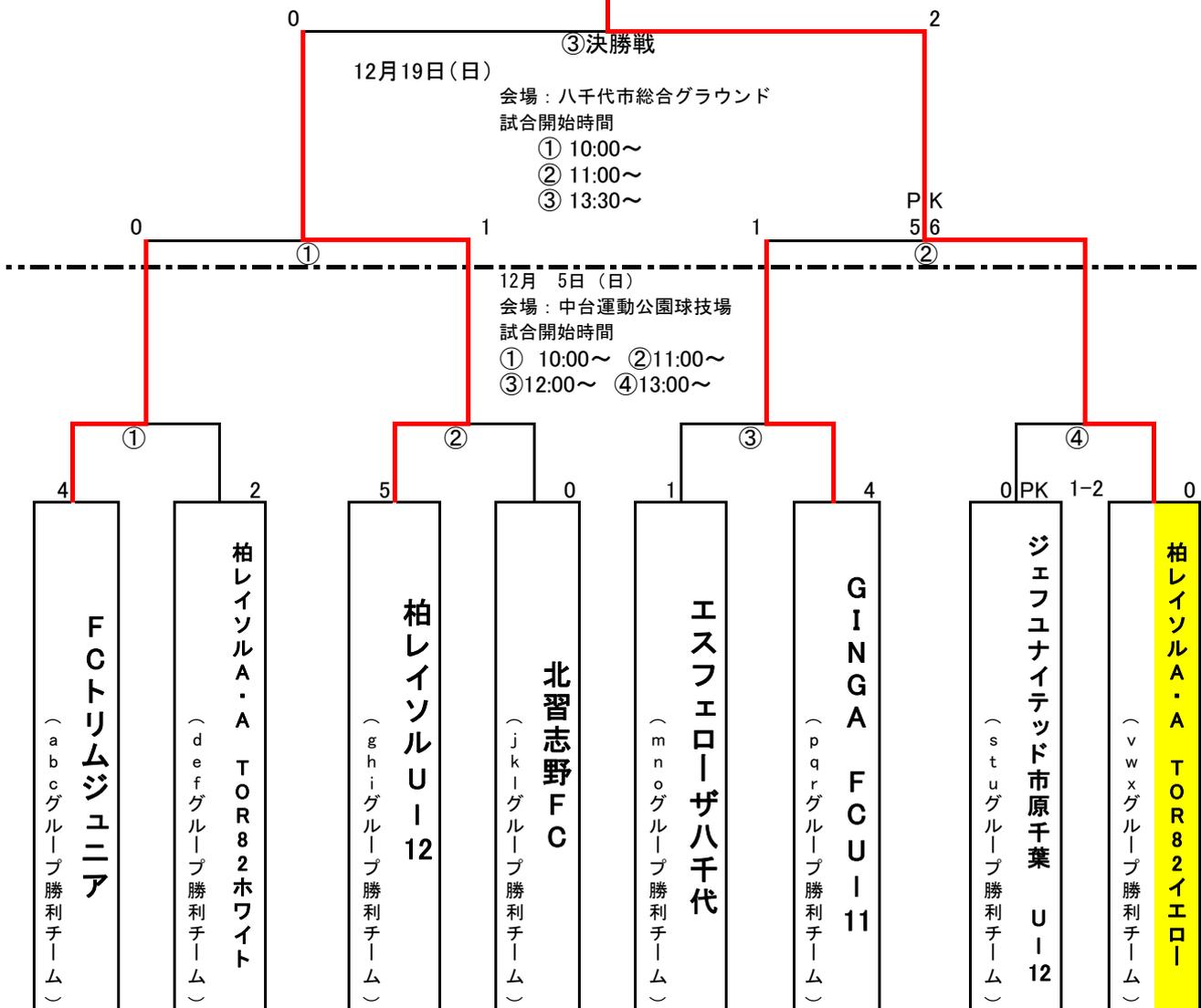


**第41回 千葉県U-11サッカー選手権大会
兼JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN関東 千葉県予選**

優勝	柏レイソルA. A TOR'82イエロー
準優勝	柏レイソル U-12
第3位	GINGA FC U-11
第3位	FC トリムジュニア

柏レイソルA.A TOR'82イエロー

Ⅲ・決勝トーナメント (20分 - 5分 - 20分)



令和3年度
第41回千葉県U-11サッカー選手権大会
兼 JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 関東 千葉県大会
決勝戦

柏レイソルU-12 vs 柏レイソル A.A.TOR' 82 イエロー

0-2 (0-0) (0-2)

戦評

同日に行われた準決勝戦では、柏レイソルU-12（以下レイソル）はFCトリムジュニアに、柏レイソル A.A.TOR' 82 イエロー（以下TOR）は、GINGA FC U-11 にそれぞれ勝利し決勝戦へと進出した。

晴天空の下、八千代市総合グラウンドで無観客での決勝戦が行われた。

【前半】

TOR12 番清川君のキックオフで前半戦が始まった。

両チームとも1-3-3-1でのスタート。

2分最初のシュートはレイソル、左サイドCKからTOR10番柏君がクリア、こぼれ球をレイソル22番石川君が左足ダイレクトシュートもゴール右へ外れる。

5分TOR右サイドを12番清川君の突破から中央へ、レイソルクリアミスボールをTOR7番阿部君が左足シュートも枠外。

5分レイソル22番石川君から25番菊池君に縦スペースへのパス、ワンタッチでコントロールし左足シュートもTOR GK37番森下君がファインセーブ。

6分レイソル右中央付近から27番湊君から中央25番菊池君へ、ダイレクトで左サイド22番石川君がペナルティエリア付近から左足シュートもGK正面。

15分レイソル中央27番湊君から19番金原君へ、中央折り返しのこぼれ球を25番菊池君が左サイド22番石川君へパス、ペナルティエリア外からの左足ダイレクトシュートもGK正面。

両チームとも前線からのプレスが早く、DFラインではTOR19番小川君を中心に10番柏君、7番阿部君が体を張って守っていました。レイソルは28番飯島君を中心にDFラインからGK含めつないで前線へボールを供給していました。前半は0-0で終了。

【後半】

1分レイソルゴール前でのバックパスをTOR30番片瀬君がGKへプレスし押し込んで待望の先制ゴール。1-0とする。

2分TORが前線プレスで23番大塚君から奪ったボールを右サイドへ展開、10番柏君がゴール前へ折り返し14番久保君がゴール前でキープしゴールエリア付近から右足シュートもレイソル28番飯島君がシュートブロック、こぼれ球にTOR14番久保君が素早く反応し後方の23番原君へパス、そのままダイレクトで右足シュートも枠外。

TOR先制点の勢いが継続し前線からプレスしボールを奪う場面が多くみられた。

5分レイソルゴール前からレイソル17番岡本君が19番金原君の動きをよく見てTORDFライン裏へ大きく蹴りだし19番金原君が走り込み、ペナルティエリア付近まで独走かと思ったところTOR19番小川君がスライディングで阻止、懸命に戻って守り切りました。

6分TOR GK37番森下君のロングキックからレイソルDFのヘディングがゴール前へ流れたところ、

レイソル 22 番石川君、GK21 番知久君の間に TOR34 番埴君が競り合い、こぼれたところを 14 番久保君が押し込み追加点。2-0 とする。

7 分レイソルフォーメーションを 1-2-3-2 にし攻撃重視となる。

8 分レイソル 22 番石川君が左サイドをドリブルで仕掛けゴール前へセントリングも TOR クリア。左からのコーナーキックを TOR19 番小川君がヘディングでクリア。こぼれ球をレイソル 22 番石川君がゴール前に大きくけりだしたところを TOR19 番小川君が素早くよせて顔面でブロック。気迫あふれるプレーでした。

14 分 TOR23 番原君が左サイドから中央 34 番埴君へパス右足ワントラップで DF をかわし右足シュートもレイソル GK21 番知久君がファインセーブ。

20 分レイソル FK からゴール前へのボールを TOR30 番片瀬君がクリア、こぼれ球をレイソル 22 番石川君の左足ダイレクトシュートも枠外となり、試合終了となった。

柏レイソル A.A.TOR' 82 イエローの優勝で大会は幕を閉じる。

試合を通しての所感としては、柏レイソル A.A.TOR' 82 イエローは終始前線からのプレスが連動してできており相手陣内でプレーしている時間が多かった。レイソルは左右のスペースをうまく使い中央経由してサイドチェンジなど多く見受けられた。

両チームとも DF ラインだけでなく前線からもボールを奪うことへの執着心、連動性が感じられ技術力だけでなくチームとしての高いプレーをみせてくれました。

レフリーも選手達とうまくコミュニケーションをとりながら素晴らしい決勝戦となるようにしてくれました。

まだまだ続くコロナ禍において、無観客となったことは残念ですが、選手、保護者、チームスタッフ、大会関係者全ての方のご協力のおかげで、無事大会を終了することができました。

各チームには小学生最後の 1 年間を更なるレベルアップを図り、今後も素晴らしいレベルの高いプレーをみせていただけることを期待したい。

公益社団法人 千葉県サッカー協会第 4 種委員会 5 ブロック技術部委員 / 樋口 雅彦 記